


ふくしまSDGs推進プラットフォーム 分科会
活動報告書

記入日：令和7年3月12日


分科会名称	ふくしまPPP/PFI地域プラットフォーム
活動実施日	令和7年1月9日
活動内容 (写真があれば張り付けてください。)	<p>第1回目は、ふくしまPPP/PFI地域プラットフォームを立ち上げた趣旨を説明したほか、今後のサウンディング実施に向けた県内市町村でのPPP/PFI検討状況の紹介、自治体及び民間それぞれの講師より「小規模自治体でのPPP/PFI」に焦点を当てた講演を実施した。</p> <p>次第は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none">1 地域プラットフォームの概要及び県内自治体における検討状況 福島県地域振興課2 官民対話に向けた事業概要<ol style="list-style-type: none">(1) 福島市財産マネジメント推進課 ・旧青木小学校 ・矢剣町95番(2) 鏡石町都市建設課 ・鳥見山公園3 講演①「常総市が実践するPPP」 茨城県常総市 市長公室 資産活用課 課長補佐 堀井 喜良 様4 講演②「地方発・PPP/PFI受託ラッシュ企業の叫び?!」 株式会社合人社計画研究所 取締役 経営企画本部長 山本 計至 様5 ネットワーキング（名刺交換、意見交換） 

<p style="text-align: center;">活動成果</p>	<p>1 参加者 98名（現地及びオンライン）</p> <p>2 実施効果 事後アンケートの主な結果は以下のとおり。</p> <p>(1) 郡山市の事業説明を受けて、回答者の61.3%が「今後の検討次第で事業に参画したい」と回答され、事業計画の周知に一定の効果があった。</p> <p>(2) サウンディング実施予定の3案件について、それぞれ3社以上から「参画したい」との回答があった。</p> <p>(3) 地域プラットフォームに望む施策として、「自治体・企業との情報交換・マッチングにつながる機会提供」が最も多くの希望があった。</p> <p>3 まとめ 県から趣旨説明の時間を設けたほか、2つの基調講演へ高い評価があったため、地域プラットフォームの目的や有用性を周知し、制度推進に向けた今後の施策への参加を促すために一定の効果があったと言える。</p> <p>また、サウンディング参加希望の民間事業者も複数あったため、今後実施を予定している官民対話案件の周知に繋がる機会となった。</p>
<p style="text-align: center;">分科会の終了</p>	<p>1 終了</p> <hr/> <p>2 継続</p>

※ご提出いただいた「活動報告書」はふくしまSDGs推進プラットフォームポータルサイトへ掲載します。

ふくしまSDGs推進プラットフォーム 分科会
活動報告書

記入日：令和7年3月12日

分科会名称	ふくしまPPP/PFI地域プラットフォーム
活動実施日	令和7年2月19日
活動内容 (写真があれば張り付けてください。)	<p>第2回目は、地方公共団体が所有する土地や施設の活用方法について民間の事業者から広くアイデアや意見を求める「サウンディング」に焦点を当てた取組みを、下記のとおり全2部制で開催した。</p> <p>次第は以下のとおり。</p> <p>1 第1部 セミナー</p> <p>(1) 基調講演 「地域プラットフォームにおけるサウンディングの勘どころ ～かがわPPP/PFI地域プラットフォームの取組み～」 百十四銀行 地域創生部地域創生グループ 上席調査役 大森 亮昌 様</p> <p>(2) 事業説明 「来年度以降の活動計画について」 福島県地域振興課</p> <p>(3) 来年度サウンディング実施予定案件の説明 「身近な公園整備を考える」 郡山市公園緑地課</p> <p>2 第2部 オープン型サウンディング</p> <p>(1) 「鏡石町鳥見山公園民間活力導入」 (2) 「福島市旧青木小学校」 (3) 「福島市矢剣町95番公有地利活用事業」</p> 

<p style="text-align: center;">活動成果</p>	<p>1 参加者 92名（現地及びオンライン）</p> <p>2 実施効果 事後アンケートの主な結果は以下のとおり。</p> <p>(1) 基調講演について、全ての回答者が「有意義だった」又は「どちらかといえば有意義だった」と回答した。</p> <p>(2) サウンディング実施予定案件について、3社から「参画したい」との回答があった。</p> <p>(3) サウンディング傍聴の感想について、3案件それぞれ90%を超える回答者から「有意義だった」又は「どちらかといえば有意義だった」との回答があった。</p> <p>(4) 地域プラットフォームに望む施策として、「自治体・企業との情報交換・マッチングにつながる機会提供」が最も多くの希望があった。</p> <p>3 まとめ 基調講演でサウンディングの基礎から実施のポイントについて学ぶことができ、そこから実際の対話に移ったことで、参加者及び傍聴者が具体的なイメージを持って臨むことができ、高い評価を得ることに繋がった。</p> <p>サウンディング実施予定案件の周知も効果的に実施できているが、さらなる民間事業者の参加が必要であることや、比較的小規模な自治体の参加が消極的であることから、案件形成につながるような事例の紹介や意見交換の場を継続的に設けていきたい。</p>
<p style="text-align: center;">分科会の終了</p>	<p>1 終了</p> <hr/> <p>2 継続</p>

※ご提出いただいた「活動報告書」はふくしまSDGs推進プラットフォームポータルサイトへ掲載します。